

林田哲雄

西条市

林田哲雄は、明治 32 (1899) 年周桑郡小松町に生まれ、小松小学校、西条中学校（現西条高等学校）を卒業し、翌年京都の大谷大学に進学した。常に新しいことを吸収しようと社会改革を志し、学業半ばにして社会運動に参加するようになった。

大正 11 (1922) 年 3 月、哲雄は、岡崎公会堂で開かれた全国水平社大会に参加した。その後、愛媛県内で水平社運動を起こし、差別問題の実態調査等で各地を歴訪した。

水平社運動と時を同じくして全国的に農民運動が起こると、農民運動に専念するようになった。大正 13 (1924) 年には、周桑郡^{にゅうがわ}壬生川町にて愛媛県水平社の徳永参二と講演会を開き、農民組合の結成を決議した後、県内初の農民組合である日本農民組合香川県連合会壬生川支部を結成した。

昭和 2 (1927) 年、日本農民組合本部から西光万吉らを招き、日本農民組合愛媛県連合会第 2 回大会を開催した。

水平社運動、農民運動、労働運動等に尽力し、何度も警察に検挙・投獄されたが、小松町議会議員や衆議院議員を務めるなど、大衆の絶大な信頼を得た。しかし、志半ばにして病に倒れ、昭和 33 (1958) 年 60 歳にしてこの世を去った。

昭和 41 (1966) 年 12 月、小松町の J R 予讃線と国道 196 号線の交差点に、愛媛県における農民運動発祥の地として記念碑を建て、功績を称えている。



林田哲雄 顕彰碑

〔参考資料〕

- 小松町誌編さん委員会 『小松町誌』
- 東予市誌編さん委員会 『東予市誌』
- 愛媛県同和対策協議会 『愛媛の部落解放史』